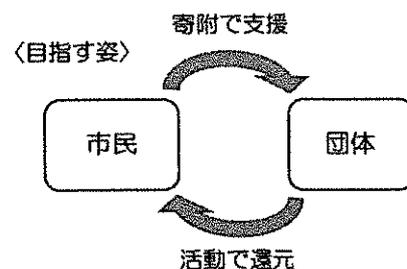


はままつ夢基金事業費補助金制度について

1 目的

市民協働の核となる市民活動を育て、互いに支えあう地域社会を醸成するため、市民の寄附文化の機運を作り出す仕組みとして設置。



2 概要

- ・市民、市民活動団体、事業者からの寄附金を基金へ積み立て、市民活動団体が行う事業への補助金として活用。
- ・夢基金の登録団体の中から支援したい団体を選んで行う希望寄附と、市民活動を広く支援するための一般寄附がある。
- ・希望寄附は夢基金の団体支援補助事業として、当該団体へ補助金として交付。
- ・一般寄附は地域力向上事業（助成事業）として申請団体に交付（窓口は各区。区協議会での審査）。

区分	団体支援補助事業	地域力向上事業 (助成事業)
対象者	団体登録必要 設立年数制限なし	団体登録不要 設立年数制限なし
団体登録審査	書類審査	—
原資	希望寄附	一般寄附、一般財源
補助率	100%	初 回：50% 2 回目：40% 3 回目：25%
補助上限額	希望寄附の範囲内	200 万円
事業提案審査	ヒアリング審査（団体を招集） ※ただし、次の場合はヒアリング 審査に変えて書類審査により 行う ・補助額が 15 万円以下の事業 ・過去に採択されたことがある 事業	ヒアリング審査 ※ただし、次の場合はヒアリング 審査に変えて書類審査により 行う ・補助額が 15 万円以下の事業
審査機関	市民協働推進委員会	区協議会

※団体登録及び提案事業の採択の可否は、市民協働推進委員会での審査結果を踏まえて、市が決定する。

はままつ夢基金事業費補助金の審査について (事業提案 [団体支援補助事業])

1 審査の流れ (審査案件：1件)

■ 特定非営利活動法人 日本ボーイスカウト浜松第12団

審査の流れ	
①	説明 … 事務局から委員へ提案内容を簡単に説明 (5分) 資料3
②	審査 … 委員で審議 (10分) <div style="text-align: center;">【審査基準】に基づいて採点 (3分) 資料4</div> 採点結果集計 (2分) → 採点結果により、(不)採択を決定

※「補助金の交付申請額が15万円以下の事業」に該当するため、団体の招集(ヒアリング)を省略し、書類審査により審議する。

2 審査方法

- ・事業提案書及び事業収支予算書 (資料3-1) をご参照いただき、委員ごとに、下表 審査基準 に定める項目ごとに4段階で評価する。
- ・評価を行ったすべての委員の点数の合計が、最も高い評価をした場合の点数の合計の6割以上のとき → 採択が適当と判断 / 6割未満のとき → 不採択が適当と判断
(例：出席委員 9人×4項目×4点満点=最高144点 → 144点×60%=86.4点以上で採択)
- ・上記にかかわらず、「整合性」の項目において「整合していない(0点)」と評価した委員がいる場合 → 不採択とする。

【審査基準】

項目	点数	判断基準・配点	
必要性	市民、地域の課題を捉え、事業の必要性が認められるものであること	十分に認められる	4
		認められる	3
		あまり認められない	2
		認められない	0
公益性	事業が団体を構成する者以外の者に対しても利益を供すると認められるものであること	十分に認められる	4
		認められる	3
		あまり認められない	2
		認められない	0
効果性	事業を行うことにより課題解決に繋がり、公益的な効果が見込まれること	十分に見込まれる	4
		見込まれる	3
		あまり見込まれない	2
		見込まれない	0
整合性	団体登録時の提案事業(※)と申請事業の内容が整合していること ※登録団体概要書「5 寄附金募集方法・計画」(資料3-2)をご参照ください	十分に整合している	4
		整合している	3
		あまり整合していない	2
		整合していない	0

はままつ夢基金事業費補助金
事業提案 [団体支援補助事業] 採点シート

資料 4

委員名： _____

団体名	特定非営利活動法人 日本ボーイスカウト浜松第12団
-----	---------------------------

項目	点数	判断基準・配点	採点	
必要性	市民、地域の課題を捉え、事業の必要性が認められるものであること	十分に認められる	4	
		認められる	3	
		あまり認められない	2	
		認められない	0	
公益性	事業が団体を構成する者以外の者に対しても利益を供すると認められるものであること	十分に認められる	4	
		認められる	3	
		あまり認められない	2	
		認められない	0	
効果性	事業を行うことにより課題解決に繋がり、公益的な効果が見込まれること	十分に見込まれる	4	
		見込まれる	3	
		あまり見込まれない	2	
		見込まれない	0	
整合性	団体登録時の提案事業と申請事業の内容が整合していること	十分に整合している	4	
		整合している	3	
		あまり整合していない	2	
		整合していない	0	
合 計			MAX 16	

メモ欄

令和7年度浜松市CSR活動表彰の選考について

1 CSR活動表彰の概要について

本事業は、事業者の社会貢献活動を促進し、市民協働の取組みをさらに発展させることを目的に、市内での社会貢献活動に積極的に取り組む事業者を表彰するもの。

(1) 表彰対象

- ① 対象者 CSR活動に積極的に取り組んでいる市内に所在する事業者。
 - ② 対象事業 対象者が令和6年10月1日～令和7年9月30日に自ら実施したCSR活動。
- ※ CSR活動 … 社会課題・地域課題の解決に努め、地域貢献を果たす取組み。

(2) 応募者 21事業者

(3) 受賞区分

マイスター事業者 (Star Prize 制度)	過去に優秀賞を通算2回受賞した事業者であって、当該取組みが、当該年度に優秀賞を受賞した事業者と同水準以上の取組みであると評価された者をマイスター事業者として認定し、星を付与。 以降、応募した年度の優秀賞と同水準以上の取組みであると評価された場合に、星を追加付与。
優 秀 賞	特に優秀であると評価された者（上限5事業者）。
特 別 賞	先駆的又は関心度・注目度が高いと評価された者。
市民協働奨励賞	地域の団体（自治会等）との協働による取組みの中で、地域からの評価も高く、特に他の模範となる取組みであると評価された者。
入 賞	一定の評価を得た者。

※優秀賞、特別賞、市民協働奨励賞は重複して受賞できない。

2 選考の流れ

(1) 関係事業者の確認

応募者の中に、公私に係わらず近い関係性を有する事業者がいる者（選考外委員）を確認。

※選考外委員は、当該応募者の選考に加わるできない。

(2) 事前審査結果の説明

事務局より事前審査結果（平均点・各賞候補）について説明。

(3) 意見交換・審議

以下の賞候補の選考を中心に、委員による意見交換と審議を行う。なお、事前審査（採点）の修正および再集計は行わない。

- ① 受賞（入賞）者候補 … 得点が30点以上の応募者
- ② 優 秀 賞 候 補 … 得点の順位を参考に選考（上限5事業者）
- ③ マイスター事業者候補 … 過去の受賞歴及び優秀賞候補の水準を基に選考
- ④ 特 別 賞 候 補 … 各委員の候補投票数を参考に選考
- ⑤ 市民協働奨励賞候補 … 各委員の候補投票数を参考に選考

【参考】選考基準

項目	基準	配点
問題意識	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の背景にある考え方が地域への社会貢献であるか ・適切に社会課題、地域課題を認識しているか ・認識している課題に対しての目標が具体的、論理的、現実的であるか 	15点
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容がCSR活動といえるものであるか ・問題意識に対し、的確にアプローチできる活動内容となっているか ・過去の表彰事業にはない新規性や先駆性があるか ・工夫や改善を図りながら、継続的に実施されている活動であるか ・活動の内容がSDGs（持続可能な開発目標）の達成に資するものであるか 	15点
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に影響のある効果を地域が得ることが出来ているか ・地域からの評価が高く、他の模範となる取組みであるか 	10点
市民協働	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な主体が関わった活動であるか ・コミュニケーションをとりながら活動しているか 	10点

3 受賞者の決定について

受賞者は、本委員会での選考結果を踏まえて、市長が最終決定する。

(参考：今後のスケジュール)

選考会	R7 12月23日(火) ※本日	第4回市民協働推進委員会（選考会）
受賞の決定	R8 1月頃	選考結果を踏まえ、市長が決定
表彰式	3月16日(月) ※予定	表彰式